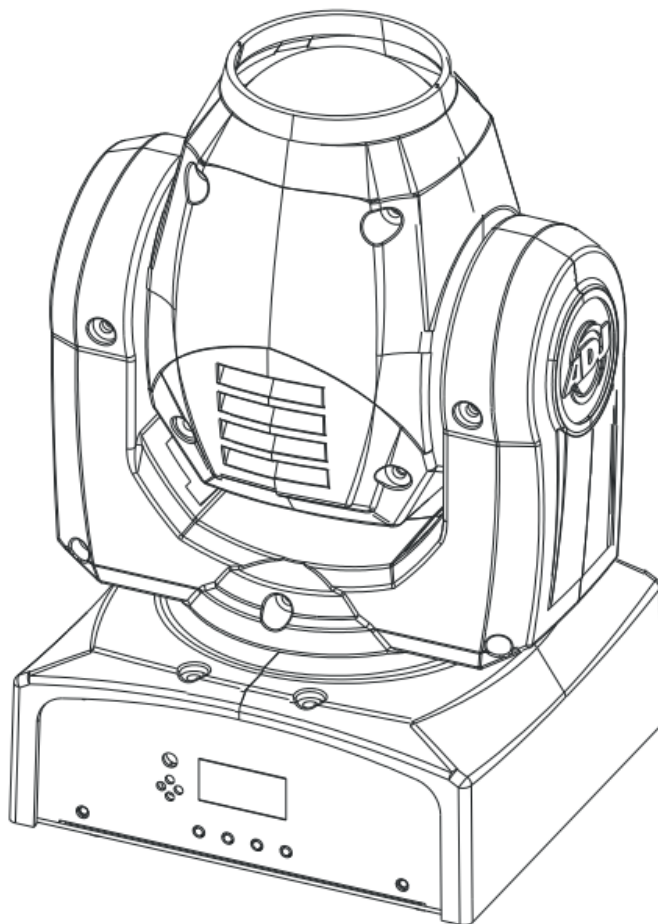




# INNO POCKET BEAM Q4

取扱説明書

Ver.1.00



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)



## はじめに

この度は American DJ INNO POCKET BEAM Q4 をご購入頂き、誠にありがとうございます。  
INNO POCKET BEAM Q4 は 15W の白色 LED を搭載したムービングヘッドです。スモークマシンと組み合わせてご使用頂くことで、空間をより華やかに彩ることができます。  
本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前に取扱説明書を必ずお読みください。

## 特徴

- ・ RGBW カラー
- ・ ショーモード(プログラム数 4)
- ・ サウンドアクティブモード(本体にマイクを内蔵)
- ・ DMX-512 対応 (10、11、13DMX チャンネル)

## 安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した子供の手の届かない所に設置してください。電源ケーブルは踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
4. 電源、電圧が正しいことを確認してください。AC100V 50/60Hz にてご使用ください。
5. ディマーマックからの電源供給によるご使用はお止めください。
6. 電源ケーブルをコンセントから抜く際は、必ずプラグを持って行ってください。
7. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。また、本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
8. 本製品は屋内専用です。本製品を屋外で使用した場合は保証対象外となりますので予めご了承ください。
9. 本体は壁から 15cm 以上離れた通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
10. 本体に液体がかからないよう、また雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
11. 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。

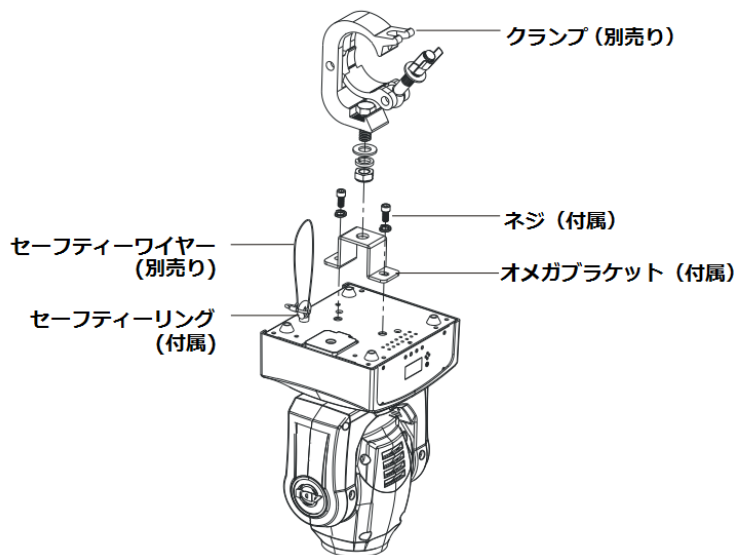
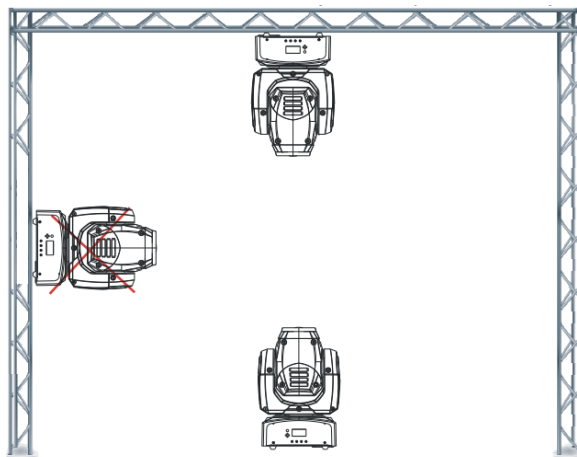
メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

## 本体の設置方法

本体を取り付ける際には、設置面の耐荷重が本体重量の 10 倍以上あり、平面であることを確認してください。また、セーフティーワイヤーを使用し、安全を確保してください。

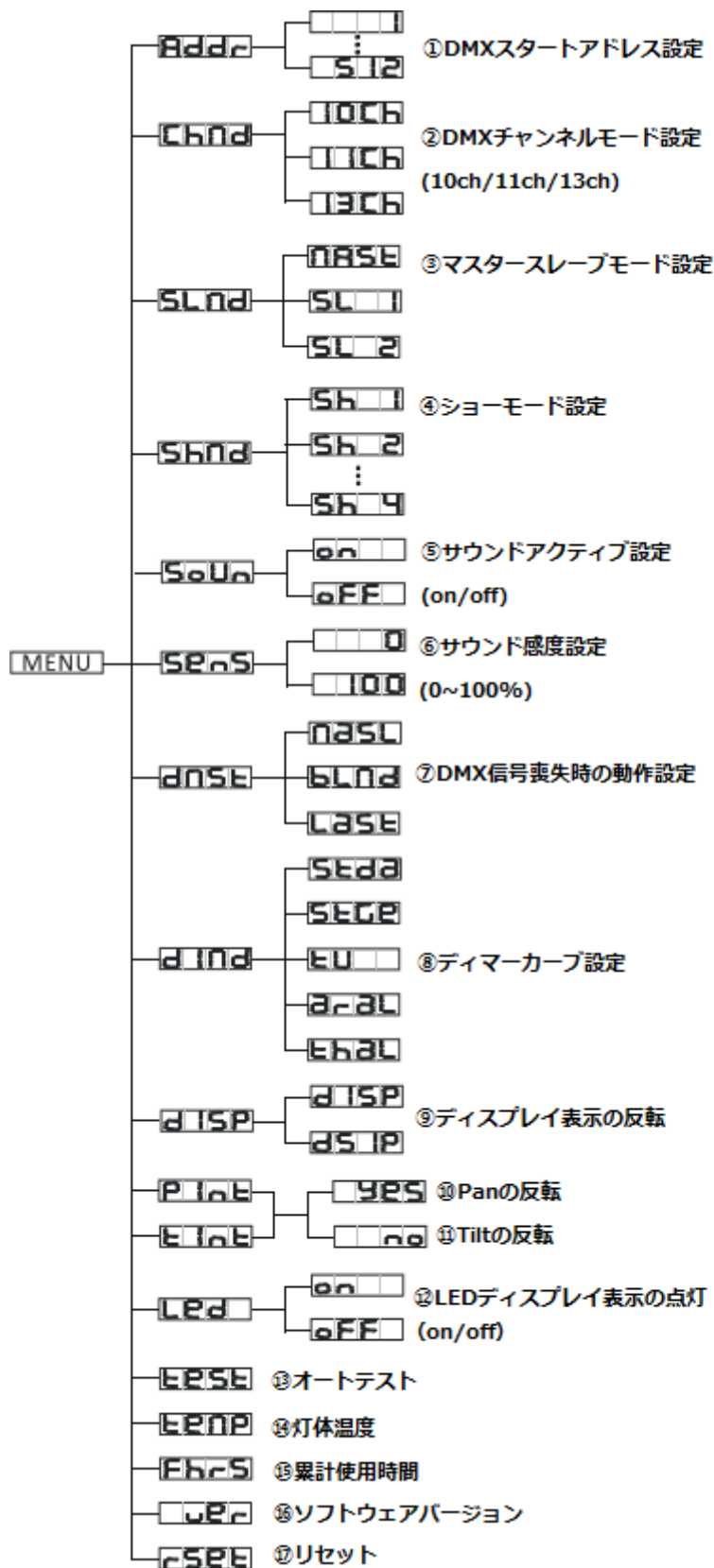
セーフティーワイヤーは必ず専用箇所へ取り付け、ハンドルには取り付けないでください。

INNO POCKET BEAM Q4 は平面上への設置、天井からの吊り下げは可能ですが、側面に設置することはできません。灯体の設置時、及び撤去時には、絶対に本体真下に立たないようにしてください。



1. 付属のオメガブラケットにクランプを取り付けてください。
2. 本体の底面にオメガホルダーを付属のネジでしっかり固定します。
3. クランプを用いて本体を設置箇所に取り付けます。
4. 本体の底面にある専用の穴にセーフティーリングを取り付け、セーフティーワイヤーのカラビナを掛けてください。
5. 設置箇所にセーフティーワイヤーを回し、末端のカラビナをリングに掛けてください。

## システムメニュー(チャート)



## システムメニュー(操作方法)

基本操作:【ENTER】で確定→【MENU】を3秒長押しで保存

※特に調整をしない場合、または終了する場合は【MENU】を押してください。

※30秒操作を行わない場合、ディスプレイは自動的にロックされます。解除する場合は【MENU】を3秒長押ししてください。

### ①Addrメニュー: ユニットのDMXスタートアドレスを設定

1. 「Addr」の表示が出るまで【MENU】を押します。表示されたら【ENTER】を押します。
2. 【UP】【DOWN】でDMXアドレスを任意に選択します。
3. 【ENTER】を押し、確定します。

### ②Chndメニュー: DMXチャンネルモードを設定

1. 「Chnd」の表示が出るまで【MENU】を押します。表示されたら【ENTER】を押します。
2. 【UP】【DOWN】で「10Ch」モード、「11Ch」モード、「13Ch」モードから任意に選択します。  
※それぞれの動作は後述のDMXチャンネル表を参照してください。
3. 【ENTER】を押して確定します。

### ③SLndメニュー: マスター/スレーブモード設定

1. 「SLnd」の表示が出るまで【MENU】を押し、表示されたら【ENTER】を押し、「MAST」、「SL1」、「SL2」のいずれかの表示を確認してください。
2. 【UP】【DOWN】で任意に「MAST」、「SL1」、「SL2」を選択してください。  
※「MAST」はマスター、「SL1」はスレーブとして機能します。「SL2」はスレーブとして「MAST」と対照的な動作をします。
3. 【ENTER】を押して確定します。

### ④Shndメニュー: ショーモード設定(プリセット1-4)

1. 「Shnd」の表示が出るまで【MENU】を押し、表示されたら【ENTER】を押します。「Sh～」の表示を確認してください。「～」には1から4の数字が表示されます。  
※1から4の各番号にはそれぞれプリセットされたショーが保存されており、変更することはできません。
2. 【UP】【DOWN】でお好みのショーモードを任意に選択します。(Sh1~Sh4)
3. 【ENTER】を押して確定し、【MENU】を3秒長押しすると作動します。  
※ショーモードはサウンドアクティブと連携することができます。(→SoUnメニュー参照)

### ⑤SoUn メニュー: サウンドアクティブを設定

1. 「SoUn」の表示が出るまで【MENU】を押し、表示されたら【ENTER】を押します。
2. 「on」または「oFF」が表示されます。【UP】【DOWN】でどちらかを任意に選択します。  
※「on」でサウンドアクティブモードに、「oFF」でサウンドアクティブモードを解除します。
3. 【ENTER】を押して確定します。

### ⑥SEnS メニュー: サウンドアクティブの感度を設定

1. 「SEnS」の表示が出るまで【MENU】を押し、表示されたら【ENTER】を押します。
2. 【UP】【DOWN】で任意に感度を調整します。※0(低)～100(高)
3. 【ENTER】を押して確定します。

### ⑦dnSt メニュー: DMX 信号を喪失したあとの動作変更

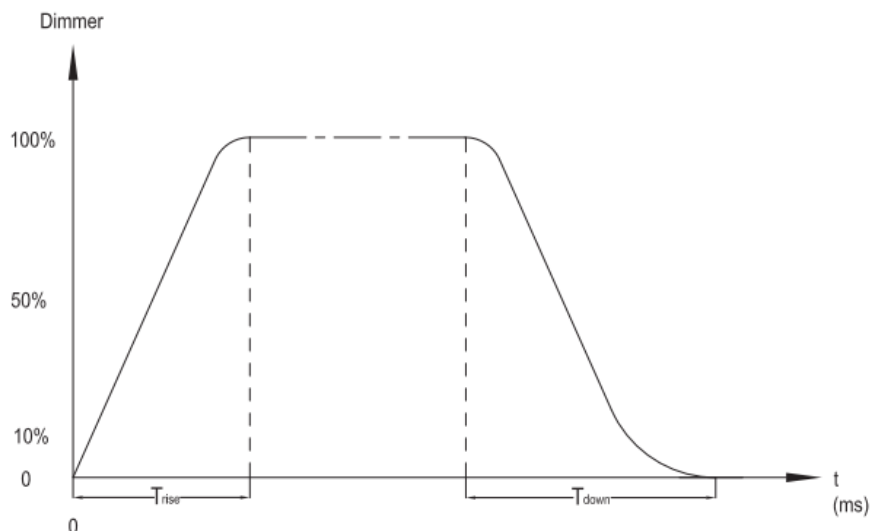
1. 「dnSt」の表示が出るまで【MENU】を押し、表示されたら【ENTER】を押します。
2. 「MaSL」、「bInd」、「LaSt」のいずれかの表示があることを確認します。  
※各表示の詳細は下記の表を参照。
3. 【UP】【DOWN】で任意に選択します。
4. 【ENTER】を押して確定します。

MaSL	マスタースレーブモードに切り替わります。
bInd	自動でブラックアウトに切り替わります。
LaSt	前回設定した DMX モードで作動します



### ⑧dInd メニュー: デイマーカーブを設定

1. 「dInd」の表示が出るまで【MENU】を押し、表示されたら【ENTER】を押します。
2. デイマーカーブは 5 種類(「Stda」標準、「StGE」ステージ、「tv」テレビ、「araL」建物、「THAL」シアター)あり、そのうちの 1 つが表示されます。【UP】【DOWN】を押し、任意にお好みのデイマーカーブを選択します。
3. 【ENTER】を押して設定を確定し、終了します。



Ramp Effect	OS (Fade Time)		IS (Fade Time)	
	$T_{rise}$ (ms)	$T_{down}$ (ms)	$T_{rise}$ (ms)	$T_{down}$ (ms)
Standard	0	0	0	0
Stage	780	1100	1540	1660
TV	1180	1520	1860	1940
Architectural	1380	1730	2040	2120
Theatre	1580	1940	2230	2280

### ⑨dISP メニュー: ディスプレイ表示の反転

1. 「dISP」の表示が出るまで【MENU】を押し、表示されたら【ENTER】を押します。
2. 【ENTER】を押すと、ディスプレイ表示が 180° 反転します。再度【ENTER】を押すと 180° 反転し、元に戻ります。どちらかを任意に選択してください。
3. 【MENU】を押して終了します。

#### ⑩PInt メニュー: パンの反転

1. 「PInt」の表示が出るまで【MENU】を押します。表示されたら【ENTER】を押し、「YES」か「no」の表示があることを確認します。
2. パンの向きを反転する場合、【UP】【DOWN】で「YES」を選択し、【ENTER】を押します。反転を解除する場合、「no」を選択し、【ENTER】を押します。

#### ⑪tInt メニュー: チルトの反転

1. 「tInt」の表示が出るまで【MENU】を押します。表示されたら【ENTER】を押し、「YES」か「no」が表示されることを確認します。
2. チルトの向きを反転する場合、【UP】【DOWN】で「YES」を選択し、【ENTER】を押します。反転を解除する場合、「no」を選択し、【ENTER】を押します。

#### ⑫LEd メニュー: ディスプレイ表示の点灯

1. 「LEd」の表示が出るまで【MENU】ボタンを押し、表示されたら【ENTER】を押します。
2. 「on」か「oFF」が表示されます。【UP】【DOWN】でいずれかを選択します。  
※表示を点灯させる場合は「on」、自動で(操作停止後 10 秒経過後)消灯させるには「oFF」を選択してください。
3. 【ENTER】を押して設定を確定してください。  
※「oFF」を選択し消灯した後、再度いずれかのボタンを押せばバックライトは点灯します。

#### ⑬tEst メニュー: 現在のマニュアル設定を確認

1. 「tEst」の表示が出るまで【MENU】を押し、表示されたら【ENTER】を押します。
2. 現在の設定でテスト運転を始めます。
3. 【MENU】を押して終了します。

#### ⑭tEMP メニュー: 灯体温度を確認

1. 「tEMP」の表示が出るまで【MENU】を押し、表示されたら【ENTER】を押します。
2. 現在の灯体温度が表示されます。
3. 【MENU】を押して終了します。

#### ⑮FhrS メニュー: 累計使用時間数を確認

1. 「FhrS」の表示が出るまで【MENU】を押し、表示されたら【ENTER】を押します。
2. 現在の累計使用時間が表示されます。
3. 【MENU】を押して終了します。

#### ⑩VEr メニュー: ソフトウェアのバージョンを確認

1. 「VEr」の表示が出るまで【MENU】を押し、表示されたら【ENTER】を押します。
2. 現在のソフトウェアのバージョンが表示されます。
3. 【MENU】を押して終了します。

#### ⑪rSEtメニュー: 本体のリセット

1. 「rSEt」の表示が出るまで【MENU】を押します。
2. 【ENTER】を押せばリセットされます。

### システムメニュー/ホームポジションサブメニュー設定(操作方法)

ホームポジションのサブメニューへ行くには、まず動作モード設定の表示から【ENTER】を5秒間長押ししてください。サブメニューでは、パンとチルトのホームポジションを調節することができます。

#### Pan メニュー: パンのホームポジション設定

1. 【ENTER】を5秒間長押しします。
2. 【UP】【DOWN】で「Pan」を選択します。表示されたら【ENTER】を押します。
3. 【UP】【DOWN】で0~255を切り替え任意の位置に設定し、【ENTER】を押します。
4. 【MENU】を1秒間押すと終了します。

#### tiLt メニュー: チルトのホームポジション設定

1. 【ENTER】を5秒間長押しします。
2. 【UP】【DOWN】で「tiLt」を選択します。表示されたら【ENTER】を押します。
3. 【UP】【DOWN】で0~255を切り替え任意の位置に設定し、【ENTER】を押します。
4. 【MENU】を1秒間押すと終了します。

## モード切り替え参照ページ一覧

モード	設定参照	留意点
DMX モード	① Addr メニュー ② Chnd メニュー	外部接続 DMX コントローラー(別売)、DMX ケーブル(別売)を使って操作。 10、11、13DMX チャンネルモードから 1 つを選択。
マスタースレーブモード	③ SLnd メニュー	最大 16 台まで。
ショーモード	④ Shnd メニュー	4 種類のショーより 1 つを選択。
サウンドアクティブ	⑤ SoUn メニュー ⑥ SEnS メニュー	サウンド感度設定。

## DMX チャンネル表

### 10 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	0 - 255	パンの動作(8ビット)0° -540°
2	0 - 255	チルトの動作(8ビット)0° -210°
3	0 - 255	赤 0 - 100%
4	0 - 255	緑 0 - 100%
5	0 - 255	青 0 - 100%
6	0 - 255	白 0 - 100%
7	0 - 7 8 - 15 16 - 131 132 - 139 140 - 181 182 - 189 190 - 231 232 - 239 240 - 247 248 - 255	<u>シャッター/ストロボ</u> シャッタークローズ シャッターオープン ストロボ 遅 - 速 シャッターオープン シャッターオープン 遅 - クローズ 速 シャッターオープン シャッターオープン 速 - クローズ 遅 シャッターオープン ランダムストロボ シャッターオープン
8	0 - 255	ディマー 0% - 100%
9	0 - 255	<u>パン/チルト動作速度</u> 速 - 遅
10	0 - 69 70 - 79 80 - 89 90 - 99 100 - 199 200 - 209 210 - 249 250 - 255	<u>ブラックアウト/リセット</u> - ブラックアウト/パン/チルト動作 - ブラックアウト/カラーチェンジ - 全リセット - サウンドアクティブモード

## 11 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	0 - 255	パンの動作(8ビット)0° -540°
2	0 - 255	チルトの動作(8ビット)0° -210°
3	0 - 255	赤 0 - 100%
4	0 - 255	緑 0 - 100%
5	0 - 255	青 0 - 100%
6		白 0 - 100%
7	0 - 7 8 - 15 16 - 131 132 - 139 140 - 181 182 - 189 190 - 231 232 - 239 240 - 247 248 - 255	<u>シャッター/ストロボ</u> シャッタークローズ シャッターオープン ストロボ 遅 - 速 シャッターオープン シャッターオープン 遅 - クローズ 速 シャッターオープン シャッターオープン 速 - クローズ 遅 シャッターオープン ランダムストロボ シャッターオープン
8	0 - 255	ディマー 0% - 100%
9	0 - 255	パン/チルト動作速度 速 - 遅
10	0 - 69 70 - 79 80 - 89 90 - 99 100 - 199 200 - 209 210 - 249 250 - 255	<u>ブラックアウト/リセット</u> - ブラックアウト/パン/チルト動作 - ブラックアウト/カラーチェンジ - 全リセット - サウンドアクティブモード
11	0 - 20 21 - 40 41 - 60 61 - 80 81 - 100	<u>ディマーカーブ</u> STANDARD(標準) STAGE(ステージ) TV(テレビ) ARCHITECTUAL(建物) THEATER(シアター)

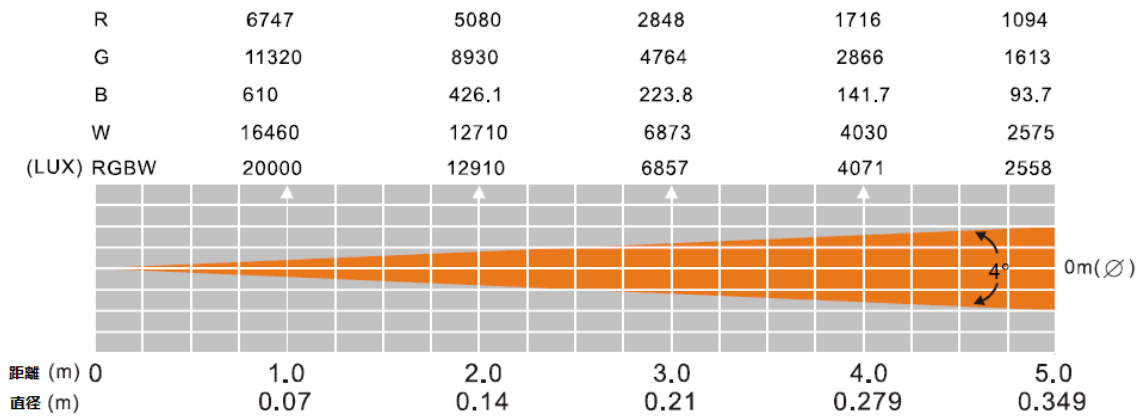
	101 - 255	デフォルトセッティング
--	-----------	-------------

### 13 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	0 - 255	パンの動作(8ビット)0° -540°
2	0 - 255	パンの動作(16ビット)
3	0 - 255	チルトの動作(8ビット)0° -210°
4	0 - 255	チルトの動作(16ビット)
5	0 - 255	赤 0 - 100%
6	0 - 255	緑 0 - 100%
7	0 - 255	青 0 - 100%
8	0 - 255	白 0 - 100%
9	0 - 7 8 - 15 16 - 131 132 - 139 140 - 181 182 - 189 190 - 231 232 - 239 240 - 247 248 - 255	<u>シャッター/ストロボ</u> シャッタークローズ シャッターオープン ストロボ 遅 - 速 シャッターオープン シャッターオープン 遅 - クローズ 速 シャッターオープン シャッターオープン 速 - クローズ 遅 シャッターオープン ランダムストロボ シャッターオープン
10	0 - 255	ディマー 0% - 100%
11	0 - 255	パン/チルト動作速度 速 - 遅
12	0 - 69 70 - 79 80 - 89 90 - 99 100 - 199 200 - 209 210 - 249 250 - 255	<u>ブラックアウト/リセット</u> - ブラックアウト/パン/チルト動作 - ブラックアウト/カラーチェンジ - 全リセット - サウンドアクティブモード
13	0 - 20	<u>ディマーカーブ</u> STANDARD(標準)

	21 -40	STAGE(ステージ)
	41 -60	TV(テレビ)
	61 -80	ARCHITECTUAL(建物)
	81 -100	THEATER(シアター)
	101 -255	デフォルトセッティング

## 測光グラフ





## DMX-512 について

### DMX-512

DMX-512 とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN、OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

### DMXリンク

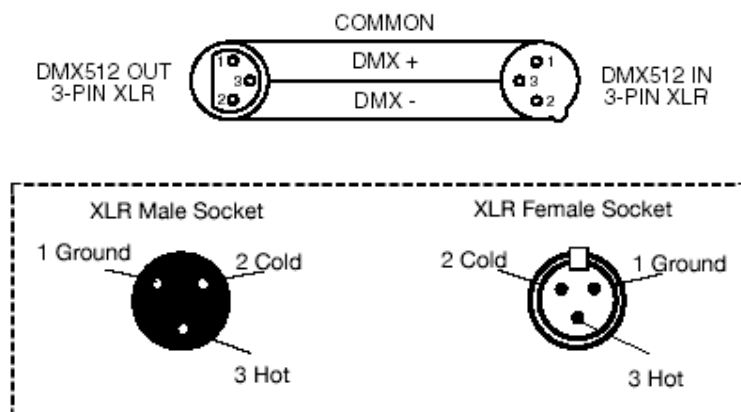
DMXデータの正確な送受信を行うため、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使いください。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は関係しません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

### DMX ケーブル

INNO POCKET BEAM Q4 は 10、11、13 チャンネルの DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体側面のディスプレイとボタンで設定してください。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。



DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照してください。



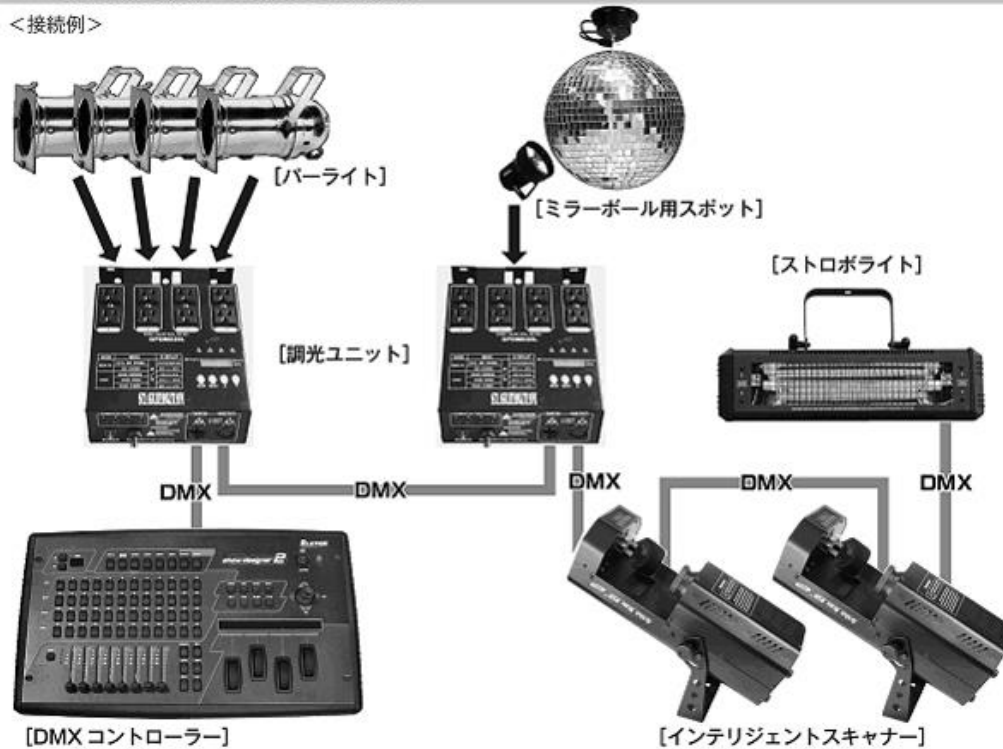
### 5ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクタの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクタを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクタを INNO POCKET BEAM Q4 に接続する際は変換アダプターをお使いください。

3-Pin XLR to 5-Pin XLR Conversion		
Conductor	3-Pin XLR Female (Out)	5-Pin XLR Male (In)
Ground/Shield	Pin 1	Pin 1
Data Compliment (- signal)	Pin 2	Pin 2
Data True (+ signal)	Pin 3	Pin 3
Not Used		Pin 4 - Do Not Use
Not Used		Pin 5 - Do Not Use

## DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>





- ・ DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線にはDMXケーブルを使用してください。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続することが可能です。
- ・ DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が短くなるように配線してください。
- ・ 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。
- ・ インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取ってください。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか、故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取ってください。

※ - 長距離の配線について -

50mを超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達が上手くいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合はターミネーターを使用してください。ターミネーターとは、最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合はストロボライト)の OUT 端子に差し込むダミープラグをさします。ターミネーターの作成方法は下記を参照してください。

### ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。</p>
	<p>自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

## ヒューズの交換

1. 電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
2. 電源ケーブルの隣にあるヒューズホルダーをマイナスドライバーで回して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

## メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。＜ ＞内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行ってください。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用ください。

### 本体 <約 1 週間に 1 度>

■ガラスクリーナーや軟らかい布で汚れを拭き取ってください。

### ファンおよび通気孔 <約 1 週間に 1 度>

■エアードスターやブラシで埃や汚れを除去してください。

### 外部レンズ・ミラー <約 20 日間に 1 度>

■ガラスクリーナーや軟らかい布で汚れを拭き取ってください。

### 内部レンズ <1-2 ヶ月に 1 度>

■ガラスクリーナーや軟らかい布で汚れを拭き取ってください。

## 故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認ください。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

症状	確認事項
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 正しい電源・電圧に接続されているか</li><li>・ 電源ケーブルが損傷していないか</li><li>・ ヒューズが切れていないか</li></ul>
DMX で動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 接続に問題がないか</li><li>・ 正常な DMX ケーブルを使用しているか</li><li>・ DMX アドレスが正しく設定されているか</li></ul>
サウンドアクティブで動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 小さい音や高音でないか</li><li>・ マイク感度が低く設定されていないか</li></ul>
マスター/スレーブモードで動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 接続された複数台の機器の内、1 台のみがマスター機に設定されているか</li></ul>

## 製品仕様

モデル	INNO POCKET BEAM Q4
LED	15W 白色 LED × 1 個
カラー	RGBW
ビーム角	4 度
DMX チャンネル数	10、11、13DMX チャンネル
消費電力	45.6W
ヒューズ	20mm 3.15A タイムラグ
使用電圧	AC100V、50/60Hz
寸法	15.9(L) × 14.7(W) × 10.5(H) cm
重量	3kg

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございます。





## 保証書

### 保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

### お買い上げ日より1年間有効

#### ■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

#### ●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

#### ●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

#### ●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみに有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。